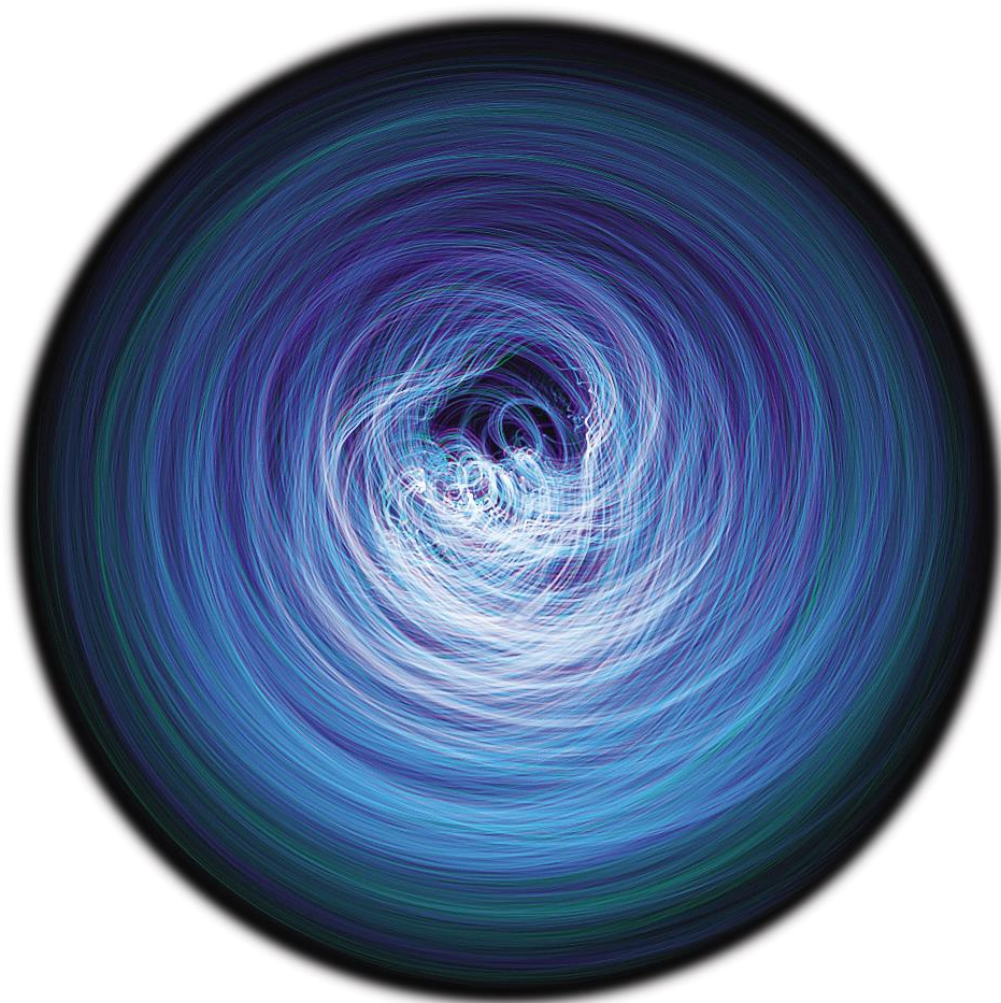




Tohmatsu Risk Advisory Recruiting Brochure

Making an impact that matters
日本経済と企業の発展に貢献するために

有限責任監査法人トーマツ

Risk Advisory



有限責任監査法人トーマツについて

有限責任監査法人トーマツのサービス構成

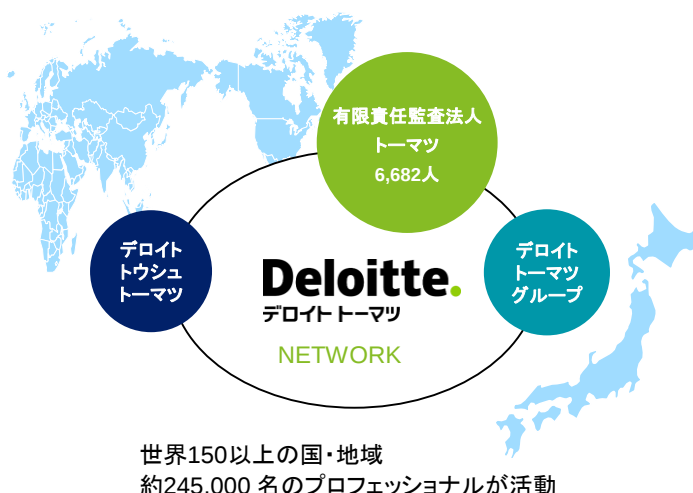


有限責任監査法人トーマツ(以下、トーマツ)は、監査・保証業務、株式公開支援、財務調査、デューデリジェンス、リスクガバナンスに関するアドバイザリーサービス、内部管理体制構築支援のためのシステム監査等を提供する日本最大級の会計事務所の一つです。国内約40都市に約3,300名の公認会計士を含む約6,000名の専門家を擁し、経済社会の健全な発展のために、日本全国でさまざまな業種の多国籍企業および日本企業等にサービスを提供しています。トーマツは、監査・保証業務とリスクアドバイザリー、それぞれの強みをもったプロフェッショナルがQuality firstのスローガンのもと価値あるサービスを提供しています。

日本のアカウンティングファームの中で、私たちトーマツだけが、グローバルの組織名に日本の法人名であるトーマツが入っています。トーマツは、常に品質を重視した業務を遂行することで、グローバルに事業を展開する企業をサポートするにふさわしい監査法人であると考えています。

デロイトおよびデロイトトーマツ グループについて

Deloitte(デロイト)とは英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイトトウシュトーマツ リミテッド(DTTL)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数を含みます。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、ワールドクラスの品質と地域に対する深い専門知識により、グローバルとローカルの両視点から監査・保証業務、リスクアドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー、税務、法務をクライアントに提供しています。



デロイトトーマツ グループ内法人と組織構成



デロイトトーマツ グループは、グローバルで共通の5つのビジネス区分から構成されています

デロイトトーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュトーマツ リミテッド(DTTL)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツ コンサルティング合同会社、デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社、デロイトトーマツ 税理士法人およびDT弁護士法人およびデロイトトーマツ コーポレートソリューション合同会社を含む)の総称です。

デロイトトーマツ グループでは、グループ内で密な連携をとり、各専門の組織や会社がクライアントのさまざまな課題解決のため、最適なプロジェクトチームを組成します。会計、リスクアドバイザリー、税務、ファイナンシャルアドバイザリー、コンサルティング、法務の各専門家と業種・セクター別の専門チームとがクロスビジネスで連携を取り合い、高品質なサービスを提供します。

トーマツのリスクアドバイザリー

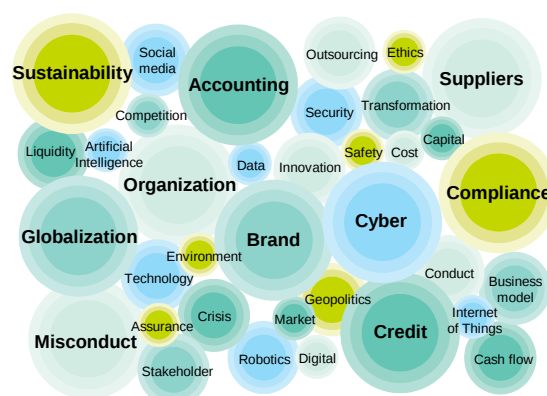
トーマツは国内初の全国規模の監査法人です。トーマツは設立から50年の間、監査法人として日本の資本市場の信頼性を確保し、その発展に貢献するという社会的使命のもと、ステークホルダーの期待を超える高品質な監査・保証業務(Audit & Assurance)の実施を通じて、資本市場の健全な発展に寄与してきました。

近年、企業を取り巻く環境は、日々めまぐるしく変化しています。多くのグローバル企業は、従来の仕組みやビジネスモデルに捉われない様々な挑戦をしています。そこで、トーマツは監査業務によって培われた知見と信頼を生かした会計、リスク、テクノロジー領域のサービスにより、適正な財務報告やガバナンス向上を支え、企業の価値向上と持続的成長を支援するための様々なノウハウを、リスクアドバイザリー業務(Risk Advisory)として提供しています。

現在、リスクアドバイザリー事業本部には約1,700名のプロフェッショナルが在籍し、長きにわたり企業トップの傍らで経営の舵取りを見守ってきた監査法人の知見と専門性を駆使して、企業が抱える問題を根本的に解決するための道筋を提案しています。

成熟した社会において、リスクテイクなしで持続的な成長は望めません。従来のリスクマネジメントの考え方として、リスクの低減、移転、回避したうえで残ったリスクを受容することが一般的でしたが、企業の持続的成長のためには、テイク(受容)するリスクを設定した上で、それ以外を回避、移転、低減する必要があります。

そのために、インダストリー別の知見に基づく戦略リスクやレギュラトリーリスクのマネジメント、アナリティクスなどを活用したリスクの可視化が必要となります。特に近年においては、ITに起因したリスクの検討やITの活用によるリスクマネジメントが求められています。



経営高度化に向けてCXOは
様々なリスク対応が求められています

トーマツのリスクアドバイザリービジネスは、「攻め」と「守り」の両面から、企業の持続的成長をサポートし、クライアントの経営の高度化に貢献します。

グローバルプロジェクト事例

	Accounting & Finance	Governance Risk Compliance	IT (Deloitte Analytics)
クライアント	グローバルに展開する上場企業	国内外で複数の事業を営んでおり、複層構造(グループ会社・JV先・委託先を含む)の日本企業	銀行業における会計監査業務のアナリティクス活用
経営課題	- IFRS導入を目指した決算期の統一 - 決算期統一後の決算早期化 - IFRS導入後の管理会計の高度化 - 決算開示支援	- 株主・投資家からは適切な範囲内で最大限のリスクテイクを求められている - 事業範囲の拡大と事業構造の複雑化により、グループを取り巻くリスクやその管理状況の全体が見えない状況になっている - グループを揺るがす重要リスクに対して、効率的で有効性のある打ち手を講じる必要がある	- 監査法人のクライアントである銀行は、融資先が返済できない可能性を予測し、予想される損失を引当金として計上している。 - 監査チームは貸倒引当金が適切に設定されていることを確認する必要があるが、財務諸表を基に返済能力を判断するため膨大な工数が掛かっている。
プロジェクト	- 決算早期化支援 - 海外子会社の決算レベル向上支援	- 戦略的リスクマネジメントの設計・導入 - M&A、事業投資等の投資基準・審査体制構築 - カントリーリスクの調査・分析	- 銀行の営業担当者が作成する報告メモに着目し、過去の報告メモのデータを融資先別に取り纏め、マッピング - 融資先の返済能力分析を行い、自動的に問題のある融資先を抽出

リスクアドバイザリーのサービス体制

トーマツでは、クライアントから信頼される”Trusted Business Advisor”であるために、コンピテンシーとインダストリーふたつの切り口から、クライアントのニーズに最適なアドバイスを行います。また、クライアントのニーズが高度化・国際化する中で、デロイト トーマツ グループのコンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー、税務、法務、および世界各国のデロイト メンバーファームと連携し、グローバル基準の価値あるサービスを提供します。

リスクアドバイザリーのサービスとクロスビジネス

Competency（専門性）

Accounting & Finance (A&F)

アカウンティングの知見を活かして、企業内外のステークホルダーに対する適正な業績情報の発信を支援するとともに、主として投資マネジメントの視点からコーポレートファイナンスの高度化を支援します

IFRS（国際財務報告基準）導入支援
財務報告プロセス高度化支援
不正会計対応（再発防止）
経営管理高度化支援
M&A（財務DD、Valuation）
投資マネジメント高度化支援

Governance Risk Compliance (GRC)

有効に機能した内部統制のもと、適切にリスクと向き合える環境の醸成と、より良いコーポレートガバナンス体制構築に関する支援を行います

コーポレートガバナンス
リスクマネジメント
戦略リスク／事業リスク
クライシスマネジメント
事業継続計画／事業継続マネジメント
内部統制
内部監査
コンプライアンス
レポーティング（CSR・統合報告）
社会的アジェンダへの対応支援

Information Technology (IT)

技術と管理の両面から総合的なインシデント対策支援を提供し、同時に新たなテクノロジーを適切に駆使することで、企業の成長を加速させる支援を行います

サイバーセキュリティマネジメント
情報システム・データ保護
スレッドマネジメント
セキュリティアナリティクス
サイバーインシデントマネジメント
ソフトウェア資産管理
ITガバナンス
システム監査
データアナリティクス

Industry（業界知見）



Financial Industry
金融



Public Sector
パブリックセクター



Health Care
ヘルスケア



Life Science
ライフサイエンス



Consumer Manufacturing
コンシューマー・製造



Technology, Media &
Telecommunications
テクノロジー・メディア・通信



Agribusiness Promotion Office
農林水産ビジネス



Energy Business Advisory
エネルギービジネス



デロイト トーマツ
コンサルティング
合同会社



デロイト トーマツ
ファイナンシャル
アドバイザリー合同会社



デロイト トーマツ
税理士法人

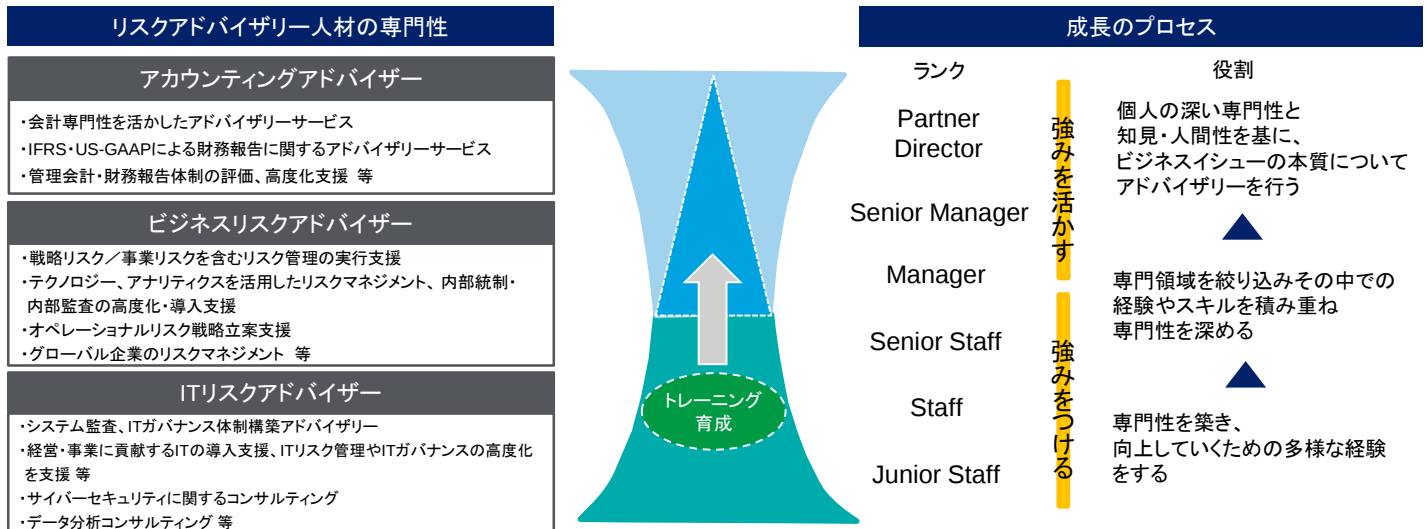


世界各国の
デロイトメンバーファーム

To be a professional

トーマツでは、Accounting & Finance (A&F) / Governance Risk Compliance (GRC) / Information Technology (IT) に関する専門性を持ち、企業経営者のアドバイザーとなるプロフェッショナルを育成・輩出していきたいと考えています。具体的には、アカウンティングアドバイザー、ビジネスリスクアドバイザー、ITリスクアドバイザーという3つの人材モデルがあります。

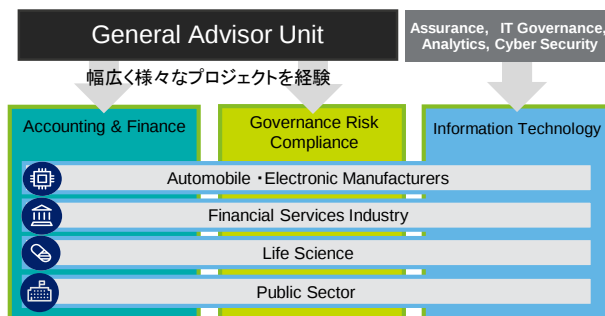
人材モデルとキャリアパス



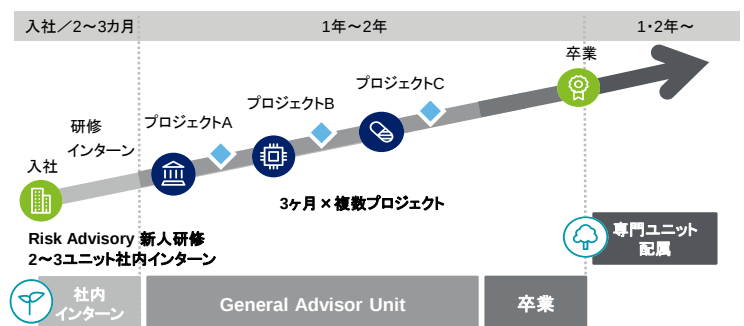
入社から1～2年はGeneral Advisor Unit (GAU) に所属し、幅広く様々なプロジェクトを経験することで、リスクアドバイザー人材として必要な基礎スキルを習得し、同時に自分の専門分野・強みを見つけてGAUを卒業します。※また、Deloitteのメソッドを凝縮した豊富な研修プログラムや海外派遣制度も用意しています。

※アカウンティングアドバイザー、ビジネスリスクアドバイザーの場合。ITリスクアドバイザーは専門ユニット配属となります。

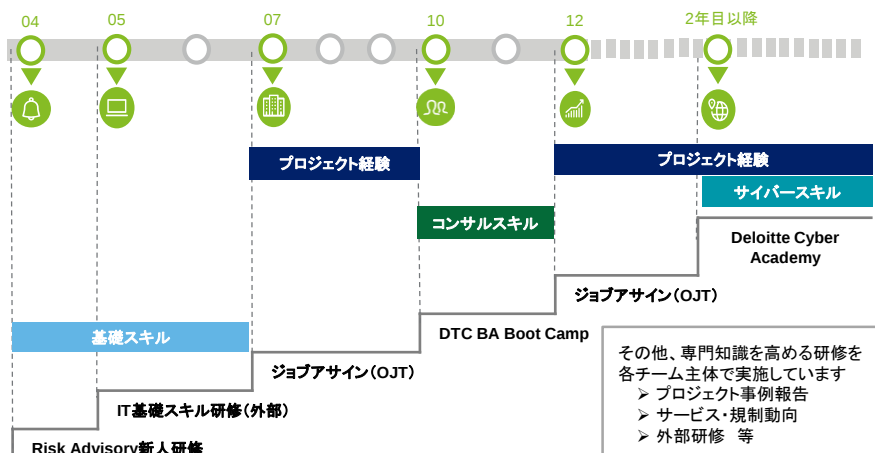
リスクアドバイザー人材を育てる仕組み



GAU入学から卒業までの成長プロセス ◆ プロジェクト終了時の面談(次のプロジェクトを決定する)



ITリスクアドバイザーの人材育成カリキュラム



ITリスクアドバイザー※は、トレーニングとプロジェクト経験を交互に積みながら継続的に基礎スキルの向上を図ります。

※システム監査、ITガバナンス、データ分析、サイバーセキュリティのいずれか。選考も別になります。

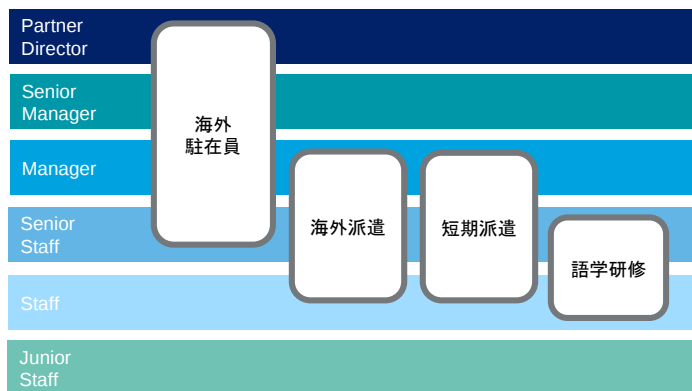
例えば、サイバーセキュリティコンサルタントの場合は、海外のDeloitteメンバーファームで様々な研修が用意されており、次のような研修に参加できるよう共同で研修プログラムを作成しています。

<Deloitte Cyber Academy研修例>

- "A Journey Through Cyber Risk Services" : 5 Days @US
- "Cyber Crime": 3 Days @Netherlands
- "Ethical Hacking": 5 Days @Spain

Global Career Support

トーマツの人材育成の基本理念は、経済社会からの要請に真摯な姿勢で対応し、高品質なサービスを提供する、信頼性の高いプロフェッショナルを育成・輩出するというものです。この実現のために、一人ひとりの経験や能力、求められる専門性に応じた多様なカリキュラムを用いて、知識やスキルの獲得にとどまらず、健全な経済社会の発展に貢献しようという高い志をも兼ね備えたプロフェッショナルの育成に取り組んでいます。



戦略的なグローバル人材育成を推進

Deloitteと共同で開発した研修なども通し、世界各国のメンバーファームと人材の相互交流を行うことによってグローバルでのサービス提供を可能にする体制を整えています。

海外派遣制度・海外研修プログラム等を通じて毎年約100名が海外へ赴任し、各国で得た知識やネットワーク・異文化での業務経験を日本の実務に活かして活躍しています。

Diversity & Inclusion

トーマツでは、ダイバーシティ&インクルージョンを重要経営戦略の一つとして位置付け、激変する市場環境を柔軟に乗り切り、成長し続けるための重要施策と捉えています。私たちはジェンダー、国籍・カルチャー、LGBT等の個人の多様性を歓迎し、受け入れ、互いに尊重し、社員一人ひとりが成長を実感し、活躍できる環境をゆるぎないものとするためにダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。



ダイバーシティ&インクルージョンの6つの重要テーマ

1. 風土改革

ネットワークイベントの開催など、ダイバーシティ&インクルージョンの文化を浸透させることを目的とした取り組みを推進していきます。

2. 女性活躍推進

女性社員・職員が長期的なキャリアを描き、高い目標を持ち、働き続ける環境を制度面からはもちろん、研修やプロモーションに向けた育成計画の作成・実行など、女性の活躍を後押しする様々なサポートを用意しています。

3. 働き方改革

長時間労働是正に向けた取り組みの強化に加え、社員・職員のライフイベントやライフプランに合わせた柔軟な勤務形態を積極的に導入しています。また、有給休暇や男性育休取得の促進を行い、社員・職員のワークライフバランスの向上に向けた取り組みも各種推進しています。

4. 国籍社員・職員の活躍推進

様々な国籍の社員・職員を受け入れ、活躍できる環境を整備しています。加えて、デロイトトーマツグループ内におけるネットワーク強化を目的に、様々なイベントを開催しています。

5. LGBTに関する取り組み

LGBTを正しく理解するための勉強会の実施、アライステッカーでの意思表示など、LGBTを受け入れる組織風土醸成に向けた様々な施策を実行しています。

6. 障がいを持つ社員・職員の活躍推進

有限責任監査法人トーマツ100%出資の特例子会社トーマツチャレンジ株式会社では健康者と同じ職場環境で多くの障がい者スタッフが活躍しています。

育児・介護と仕事の両立支援

■ ベビーシッター／病児保育シッター利用支援制度

育児中の職員が安心して働くことのできる環境をつくる為、提携先のシッターサービス利用時に入会金、月会費及び利用料金の補助を行っています。

■ 待機児童向け保育所入所枠の確保

保育園入園待機となり復職が困難となっている職員を対象になったお子さんを対象に、キッズスクウェア東京スクエアガーデン(京橋)にて入所枠を確保しています。また、保育料の援助も受けられます。

■ 育児支援割引券の利用

公益社団法人全国保育サービス協会が指定するベビーシッター事業者を利用した際に、1日につき2,200円の割引が受けられる割引券を配布しています。

■ 育児・介護クーポンの利用

育児・介護サービスの利用時の支払いにトーマツ健康保険組合の「カフェテリアプラン」のポイントを充当し、クーポンとして利用することができます。

■ 企業内保育園の開設

プロフェッショナルの多様な働き方の支援として、2018年4月企業内保育園が開園しました。

多様な働き方の支援

■ FWP(フレキシブルワーキングプログラム)

妊娠・育児・介護により通常の業務が困難な職員に対し、仕事と家庭のバランスを保ちながらキャリアアップを目指すよう設けられた制度です。法定の期間を超えた休職や業務軽減など柔軟な働き方を認めています。

■ 在宅勤務

働き方改革の一環として、在宅勤務制度を主要5法人で導入しており、今後対象範囲を拡大していく予定です。

監査法人初となる次世代認定
マーク「くるみん」を取得
(2013年7月)



Talent of people



大切なのは会計の知識よりも、落ち込まずに突っ切れる気力

GRC／ストラテジックリスク
スタッフ＜2016年9月 新卒入社＞

Q.ストラテジックリスクの仕事内容について教えてください。

私はGRCのストラテジックリスクユニットに所属しており、主に事業戦略を実行する上でのリスクマネジメントをサポートする業務を行っています。

最近では、お客様の海外子会社のガバナンス体制の構築支援を担当し、実際にその体制が構築できてからは、内部監査にも携わりました。

入社してすぐは会議の議事録を取る役割などでしたが、今では内部監査の現場に同行したり、打ち合わせをリードしたりと、1年半前の自分と比べると、想像もしなかったような責任ある仕事を任せられています。

Q.トーマツを選んだ理由を教えてください。

実は卒業した高校の広報誌でトーマツの後藤順子さん※のインタビューを読んで、感銘を受けたのが入社したきっかけです。

後藤さんはニューヨークのデロイトに駐在されていたのですが、私もニューヨーク州の大学に通っていたことや、高校が同じだったことで、不思議なつながりを感じたんです。

それで「私もこんな女性になりたい。会計を勉強して、トーマツで働きたい」と強く思ったのが入社最大の理由です。

実際に働いてみても、イメージ通り本当にフラットで、女性も多く、とても働きやすい環境です。

※後藤順子

有限責任監査法人トーマツ パートナー。FSIインダストリーのシニアアドバイザリーパートナー。公認会計士。9年間の米国ニューヨーク事務所駐在を始めとするグローバル経験を活かし、大手銀行等に対するグローバルサービス責任者を歴任。

Q.どんなときに仕事のやりがいを感じますか？

学生時代にリスクアドバイザリー事業本部のインターシップに参加したのですが、そのときはリスクを洗い出したり、評価をしたりなど、リサーチの仕事が中心だと思っていました。

でも実際に働いてみると、何かをリサーチするというよりも、自分の頭で考えることが多く、想像以上に業務の幅が広いですね。ひとつに縛られることなく、リスクに関することであればどんなことでもできるのが、この仕事の醍醐味だと思います。

また、業務に直接関連することではありませんが、トーマツには中南米や北欧にいた方など、いろんな背景を持った人が働いています。日本の文化とは違う考え方やバックグラウンドを持つメンバーと、調和しながら仕事を進めていくことも魅力を感じます。

一方で、私たちが発する言葉の一つ一つが経営に大きな影響を及ぼすことも少なくないので、常に緊張感があります。

たとえばガバナンス体制の調査や内部監査では、お客様の会社のプロセスを評価するのですが、評価者の言葉として強すぎる印象を与えてしまうと、お客様の気分を害しかねません。とはいえ指摘すべきことは伝えなくてはならないので、表現の仕方にはいつも頭を悩ませています。今はお客様や上司が何を求めているのか、なぜそういう発言をしているのかを、正しくキャッチできるようになりたいと思っています。

Q.学生の方へメッセージをお願いします。

監査法人ということで、会計の知識が必要なイメージがあるかもしれませんが、10月入社の同期8人のうち、会計のバックグラウンドがある人は3人だけ。

会計の知識は入社してからの努力と勉強でカバーできます。それよりも大切なのは、落ち込まずに、突っ切れる気力。

私自身、仕事のレベルに追いつけなくて不安になることもありますし、意見やアイデアがあっても、それが正しいのかどうかを気にして、発言できなかったりすることもあります。でも、そうした不安や気持ちを持ち乗り越えて、自分の思いをどんどん出してくれる人とぜひ働きたいですし、私も早くそんなリスクアドバイザリーのプロフェッショナルになりたいです。



お客様や周りが自然と自分を高いレベルに引き上げてくれる

Accounting & Finance／アカウンティングアドバイザリー
シニアスタッフ

Q.アカウンティングアドバイザリーの仕事内容について教えてください。

主に国際会計基準(IFRS)の導入を検討しているお客様にアドバイザーとして入り、その支援を行っています。

ビジネスがグローバル化するなかでIFRSの導入はトレンドとなっていますが、日本の会計基準から国際的な基準に揃えるには多くの課題もあり、それを解決することが仕事になります。

Q.この仕事を選んだ理由を教えてください。

私はCPA試験合格後は事業会社で経理の実務をしていました。そこで自社のIFRS導入を経験したことで、会計の専門知識を持つプロフェッショナルとして企業を外から支援できる仕事がしたいと考え、この職種を選びました。

トーマツを選んだのは、監査法人系のアドバイザリーでは業界最大手であることや、IFRSの支援実績や知見も多く、自分の経験がいかせると感じたことが大きいですね。実際、アカウンティングアドバイザリーに求められるのはゼロから、もしくは現在の状況を整理して、新しい業務プロセスを作っていくというものです。

ただ、それには一般的な実務の流れを把握したうえで、さらにあるべき姿を知っていないとできないため、前職の経験が非常に役に立っています。

Q.入社前のトーマツのイメージはどのようなものでしたか？

入社前は一人一人が個々のプロフェッショナルとして独立して働いていて、どちらかというとドライな雰囲気かなと考えていたんです。

でも実際に働いてみると、上も下も分けへだてなく、さらには他の部署のメンバーとも協力しながらお客様に質の高いソリューションを提供しようという意識がとても高く、そこはイメージと違ったところでした。今はそうした人間味あふれる働き方や、結束力の高さこそがトーマツの強みのひとつだと感じています。

Q.どんなときに仕事のやりがいを感じますか？

お客様自身が見えていないニーズや課題を可視化して、何が重要で、何が重要ではないかを伝え、それに対してどのようなアプローチでゴールまで導くか。

そうしたソリューションは、我々アカウンティングアドバイザリーにしかできない仕事ですし、そういったところをしっかりとサポートできるのがこの仕事のやりがいだと思います。

Q.トーマツで働くことの魅力はどんなところですか？

トーマツは扱う案件の規模が大きく、社会からの期待を感じることが出来ます。そうしたチームの一員として、お客様の課題を解決する一助となれるのは非常に大きな魅力です。

また、トーマツには各専門分野のスペシャリストがたくさん集まっているので、一緒に仕事をすれば自然と知識や刺激を得られ、自分の成長につながります。もちろん、周りのレベルやお客様の高い要求についていくだけの胆力が必要ですが、挫けずについていくことができれば、高いレベルに引き上げてもらうことができるのも魅力です。

一方で、この仕事には会計の専門家としての知識はもちろん、お客様のニーズや状況を踏まえて、どういった進め方が適切であるかをイメージできることが求められます。言い換えればこの仕事にとっていちばん大事なのは“人間力”だと思います。

Q.学生の方へメッセージをお願いします。

アドバイザリーは、いろいろな考えを持った人のさまざまなニーズに応える必要があります。ですから、お客様の機微を察する能力が非常に大事。たくさんの人と色々な話をし、コミュニケーション能力を磨くことを心がけてほしいですね。

最初からプロフェッショナルという人は誰もいませんが、トーマツには、自分が成長しようと思えばそれを支えてくれる人・環境・リソースが揃っています。情熱を持って取り組める人、そのための努力ができる人なら、きっとプロフェッショナルを目指せると思います。

Talent of people



DTRSなら、応用のきくスキルと専門性の高い技術の両方が身につけられる

IT／サイバーリスク
スタッフ＜2015年9月 新卒入社＞

Q.サイバーリスクの仕事内容について教えてください。

現在、私はリスクアドバイザリー事業本部・サイバーリスクのメンバーとして、グループ法人のデロイト トーマツ リスクサービス株式会社（DTRS）に出向して仕事をしています。
仕事は大きく2つあり、お客様のITに関わるシステムについて、技術的な観点からサイバーセキュリティリスクがないかを洗い出し、評価するのがひとつ。もうひとつはサイバーセキュリティリスクをどうマネジメントするかという観点から、組織体制や運用体制、ルール策定などをアドバイスする仕事で、技術とマネジメントの両方からサイバーセキュリティに関わる仕事をしています。
サイバーリスクは、今やどの企業や組織にとっても考慮しなければならない重要な課題となっています。
私自身はDTRSに入社してから3年強で、金融機関、官公庁、メディア、医療機関といった幅広い業種のお客様に対するコンサルティング業務を経験しました。

Q.この仕事を志望した動機を教えてください

入社前は大学院でコンピュータネットワークやセキュリティの勉強をしており、研究内容をいかせる仕事につきたいと考えていました。
リスクアドバイザリーという仕事は知りませんでしたが、研究室のOBの方からDTRSのことや、技術の知識を使って幅広いリスクへの対策についてコンサルティングするという今の仕事を教えてもらい、とても関心を持ちました。
同時にさまざまな業界の会社と関わることができることや、チャレンジングな環境でスキルを伸ばしていけそうだという印象も受け、当初、考えていた通信業界やSIer業界ではなく、この仕事を選びました。

Q.DTRSを選んだ理由を教えてください。

就職先を選ぶ上で最も重視したのは、そこで自分が何を身につけられるかということでした。その点、DTRSならどの仕事にも応用のきくスキルと専門性の高いサイバーセキュリティの技術の両方が身につけられると考えたからです。
また、グローバルな仕事をする環境があることも、決め手のひとつでした。サイバーセキュリティの分野は技術の進歩が非常に早く、情報のキャッチアップが大変ですが、セキュリティ先進国であるデロイト オランダのメンバーと情報交換することで、最新の情報や動向を身につけることができている。それによってお客様に付加価値の高いサービスを提供できることは、我々ならではの大きな強みだと思います。

Q.どんなときに仕事のやりがいを感じますか？

大変さや表裏一体ですが、社会人1年目から1人の専門家としてお客様に価値を提供できているという点です。
企業がビジネスを拡大させていくことはもちろん大切ですが、一方でリスクマネジメントをしっかりしておかないと、何かあったときに会社の根幹を揺るがしかねないケースが非常に増えています。だからこそ、お客様の経営を下支えして、自分が提供したのに対してお客様から感謝されたときは、この仕事を選んで良かったなと思います。
一方でサイバーセキュリティの専門家として知識や技術を幅広く身につけるのは大変ですし、あまり詳しくない方にはわかりやすく噛み砕いて伝えるスキルはこれからもっと磨いていかなければと感じています。

Q.DTRSに入社して、成長できたと感じている点を教えてください。

近年、攻撃者が実際に用いる手法を使ってお客様のサイバーセキュリティ対策の実効性を評価する「Red Team Operations」と呼ばれる案件が増えています。
そのため、私たちもテスターとして攻撃スキルを身につける必要があるのですが、会社からはデロイト オランダのメンバーからトレーニングを受ける機会や海外のカンファレンスに参加して勉強する機会を与えてもらいました。DTRSには自分から求めればサポートしてくれる体制が整っており、向上心に応じて成長できる環境があります。
デロイトの海外ファームと一緒に仕事をするグローバルプロジェクトなど、英語を使って仕事をする機会も増えているので、今後は英語力とセキュリティの2つを自分の強みにして、より一層求められるコンサルタントになっていきたいです。



立場に関係なく、仕事や人と真摯に向き合うのがトーマツの文化

IT／ITガバナンス
スタッフ＜2017年4月 新卒入社＞

Q.ITガバナンスの仕事内容について教えてください。

私の主な業務内容としては、銀行、証券会社、保険会社などの金融機関のお客様に対して、金融庁の作成している安全対策基準など、特定のガイドラインに基づいてシステムの管理態勢を評価する業務や、アドバイザリー業務を行っています。
その他にも私の所属するITガバナンスでは、ITプロジェクトPMO支援、ITプロジェクト第三者評価、クラウド提供サービスに対するリスク評価支援、システムリスクに係る内部監査の助言等、約100名のメンバーで多岐に渡るサービスを提供しています。

Q.DTRS選んだ理由を教えてください。

日本とアメリカの両大学に2年間ずつ通うなかで、経営とITの橋渡しができる人材になりたいと思うようになったのがきっかけです。ただ、就職活動中は、SEを経験して技術的な知見を養うか、コンサルティングファームで事業会社に対してアドバイスをを行う仕事に就くかでとても迷いました。
最終的には、トーマツでのインターンシップを通じて、仕事内容に強い魅力を感じたことや、トーマツに所属する人の働き方や仕事への向き合い方、キャリアに対する考え方に共感したことが、入社の決め手になりました。
特にインターンシップで印象に残っているのは、ある資料をシニアマネジャーに提出した際に「お客様のトーマツに対する高い期待に対して、このレベルであきらめていいのか」と厳しい指摘をしてくださったことです。
当時は学生でしたから、結構へこんでしまいましたが、立場に関係なく、仕事と私に真摯に向き合ってくださる姿を見て、褒める部分は褒めながらも、指摘すべき部分はきちんと指摘してくれる、そうしたトーマツの文化にも、自分が成長する場所として非常に惹かれました。

Q.どんなときに仕事のやりがいを感じますか？

プロジェクトやクライアントの規模を考えると、DTRSでの仕事はとても影響範囲が大きいものです。
1年目は先輩スタッフやマネジャーの指示のもとに仕事をするのが主でしたが、それでも自分が作成した資料などが最終的に経営層への報告などに使われ、企業の意思決定に採用されているということを経験報告会などで目の当たりにすると、非常にやりがいを感じます。一方で、お客様の要望に応えることはもちろん、そこに付加価値をどのように提供できるかが、この仕事の難しさでもあります。

Q.入社前の会社のイメージはどのようなものでしたか？

仕事がハードでプライベートの時間もとれないようなイメージでしたが、実際は労働時間で評価されるのではなく、いかに定められた時間内にハイパフォーマンスを出せるかという観点で評価する体制で、とても働きやすい環境だと思います。
また、入社後は新人研修や数か月区切りでのフォローアップ研修、業務に必要な資格の費用などのサポートもありますし、人事評価制度としては約2週間に一度、所属するプロジェクトの主任とのコミュニケーションや、3か月に1度のコーチ面談など、仕事に対するフィードバックをかなり頻繁に得ることもできます。
これらを通じて、自分の仕事やキャリアプランに対してアドバイスを頂けるのは、とても有意義だと思います。

Q.今後の目標を教えてください。

日本国内だけではなく海外にも目を向け、金融業界でITに特化した助言ができる人材になりたいと考えています。
金融業界といっても銀行、証券、保険などさまざまなセクターがありますし、ITといってもIT戦略、サイバーセキュリティなど幅広い業務内容があります。入社後1年は、日本国内の銀行や証券会社様向けに評価業務を経験しましたが、今後は語学スキルも活かして、未経験の業界や海外案件にも積極的に関与していきたいです。

Talent of people



「IT・会計・グローバル」のキーワードが引っ掛かる方には最適な仕事

IT／アシュアランス
マネジャー＜2008年8月 新卒入社＞

Q.アシュアランスの仕事内容について教えてください。

財務諸表監査と内部統制監査の一環で、システム監査の業務を行っています。どのお客様も、業務のニーズに合わせて、様々なかたちでITを活用しています。代表的なものだと、会計システムや販売・購買システムなどのアプリケーション・システムが挙げられますが、最近では第四次産業革命とも呼ばれるように、ビッグデータを活用したデータ分析、AI、RPA、ブロックチェーンなど何らかのIT技術を導入しているお客様もおられます。システム監査の業務は、お客様が利用しているITが意図した通りに利用されているのか、ITがどう管理されているのかを第三者的に確認する仕事です。もちろん、財務諸表監査や内部統制監査の一部で実施する業務ですので、会計やお客様の業務やリスクなど様々な観点を盛り込みながらシステム監査の業務を行っています。私は、トーマツ入社以来、様々な業界のお客様の監査を体験しました。今はTMT（テクノロジー、メディア、テレコミュニケーション）業界や商社業界のお客様を中心に業務を行っています。また、監査業務で得られた知識や経験などを生かして、ITに限らず、内部統制の導入・維持・高度化のアドバイザリー業務なども実施しています。

Q.この仕事を志望した動機を教えてください

アメリカの大学に留学していたときに、先輩の話やボストンキャリアフォーラムを通じてリスクアドバイザリーという仕事を知り、興味を持ったのがきっかけです。当時アメリカではデロイトは働きたい会社のトップ10に入っていたので敷居の高さも感じていましたが、先輩や職員の方と話してみると、フレンドリー且つ知的な印象を持ちました。実際に入社してみると人種、性別、年齢、職位に関係なく、非常にフラットな環境で仕事をしていることが分かりました。私はニューヨークのデロイトで1年働いた後、日本のトーマツに入社したのですが、ユニット間でつながりや、フラットな環境というのはトーマツにも共通していると感じます。また、デロイトというグローバルな組織の中で私たちは監査のやり方を学び、実践していますから、どこの国のデロイトの方にお会いしても、共通言語を持って監査の話が通じます。実際に、海外出張や日本で海外のデロイトの人とお会いして、同じ意識で話ができるのはうれしい発見でした。

Q.トーマツに入社して、成長できたと感じている点を教えてください

グローバルという点では、アメリカへの留学経験やそのときに身につけた英語力も手伝ってか、世界展開しているお客様を担当する機会が多くありますし、タレントセレクトと呼ばれる海外派遣制度でアメリカのデロイトに2年間勤務する機会も得られました。また、通常業務の中で、経営者や経営層の方とディスカッションすることもあるため、経営目線での物事の方を学ぶ機会も得られています。ITや会計、様々なビジネスの理解はもちろん、人間力という意味でも日々、成長できていると感じます。チャレンジングな環境が与えられる時こそ、自分のスキルの幅を広げ、成長できるチャンスだと思って、楽しみながら業務に取り組んでいます。

Q.この業界を目指す学生の方へメッセージをお願いします。

学生の皆さんの中には、コンサルティング業界で自分のプロフェッショナルスキルに磨きをかけたい、チャレンジしたいという方も多い方と思いますが、その中でも、自分のコアスキルとなる領域を定められるか不安を持たれる方も多いのではないのでしょうか。その点、グローバル展開する監査法人系のアドバイザリー組織に属する我々の強みは、「IT・会計・グローバル」というプロフェッショナルとしてのコアスキルを習得できることにあります。自身のキャリアがスタートする訳ですから最初に入社する会社は、今後のキャリアアップや自己成長のために非常に大事です。入社前にIT、会計、英語の知識に不安を感じる人もいるかもしれませんが、トーマツには、専門家と業界の知見が揃っているだけでなく、充実した研修やOJTがありますので、知識は入社してからでも十分に積んでいくことができます。前述の通り、社内はフラットな環境なので役職に関係なくアドバイスをもらえますし、そこから学ぶことも多いです。この業務は「IT・会計・グローバル」をキーワードに、チャレンジが好きな方、チャレンジングな環境を楽しめる方には最適な業務だと思っています。



金融業界をデータ分析の観点から見つめ続けたい

IT／デロイトアナリティクス
シニアスタッフ

Q. デロイトアナリティクスの仕事内容について教えてください。

アナリティクスチームは、大きく三つの業務に分かれています。会計監査の高度化のためのAudit Analytics、データ分析を用いて企業の課題解決をするコンサルティング業務のBusiness Analytics、最先端技術と新しい分析手法を研究する研究開発です。わたしが担当しているのは、Audit Analyticsで、会計士と共に監査のためにデータを分析する業務です。監査では不正や誤謬を見つけるのは容易ではありませんが、データ分析を使うことで、より細部まで効率的に監査を進めることができ、従来取り組みなかった手法を用いることができます。また、アドバイザリーとしてコンサルティング業務を行うこともあります。

Q.トーマツ選んだ理由を教えてください。

以前は銀行に勤めていたのですが、自分が今まで経験した業務で、一番適正があると感じたデータ分析をより深く知りたかったということがひとつ。もうひとつが四大監査法人のなかで、トーマツが一番早くアナリティクスを取り入れていたことや、日本ではまだ新しい分野の仕事で伸びしろがあり、自分の可能性を広げて、より高度なスキルが得られるのではないかと思ったことが理由です。

Q.入社前に不安に感じることはありましたか？

入社前、トーマツには敷居の高いイメージがあり、自分のスキルで十分なのだろうかという不安もありました。もちろん、お客様の期待や、求められるパフォーマンスも高いので、ある意味でそのイメージは正しいのですが、実際には、スペシャリストが協力しあって、質の高いサービスを提供していますから、自分の強みを発揮しつつ、足りない部分はサポートしあう体制ができています。トーマツに入って驚いたのは、一人一人が専門職として独立しており、プロジェクトごとに仕事をするメンバーが変わること。そして職位や年齢に関係なく意見を言い合う点です。最初は慣れなくて戸惑ったこともありましたが、いまは自分の思ったことや、意見を自由に言い合える風土こそが、トーマツの強みだと感じます。さらに、働き方に関しても、個人それぞれに負担が大きくなりすぎないように配慮されており、大きなプロジェクトのあとはまとまった休みをとることもできます。私も最近、業務が落ち着いたので、1か月半の育児休暇をとりましたが、こうしたことはどの職場でも当たり前とは言えないですね。

Q.今後の目標を教えてください。

データ分析を使った監査というのは、まだ完全に浸透していないのが実情です。ですから、お客様にアナリティクスという仕事を理解していただき、そこに価値を認めていただけるようにしっかりと成果をだしていくことが重要です。今後、金融業界はITによってこれまでにない大きな変革を迎えるでしょう。監査だけでなくデータ分析の観点からどう変化していくのかを見つめながら、そのサポートをしていきたいですね。

Q.この業界を目指す学生の方へメッセージをお願いします。

データ分析をするので、数字にアレルギーはない人がよいと思います。また、コンサルタントですからデータ分析だけをしていればよいわけではなく、会計士やお客様にわかりやすく伝えるコミュニケーション力も必要になります。トーマツやデロイトのメンバーファームに所属する、様々なバックボーンを持った方と一緒に協業していくことになるので、人見知りせず、積極的に周囲と関わっていくのが好きな人には、とても向いている仕事だと思います。

東京サマーキャリアフォーラム募集要項

採用対象	フルタイム選考： 2020年9月までに大学を卒業、または大学院を修了予定の方（入社は2019年10月、2020年4月、2020年10月から選択可） すでに大学（大学院）を卒業されている、またはすでに就業されている方（入社時期は応相談） インターンシップ選考： 2020年10月～2021年9月までに大学を卒業または大学院を修了される方で、当社の採用選考に応募意思があり、 将来の就業を希望している方（入社は2021年4月、2021年10月から選択可）
採用学科	全学部全学科。入社にあたり会計資格等は必要ありません。
募集職種	リスクアドバイザリー業務 グローバル企業が直面する経営課題を解決するために、アカウンティングファームとしての強みである、会計／財務／リスク管理の専門家としての知見を活かしたアドバイザリー業務を提供し、クライアントの企業価値の維持・向上に貢献します。 ◆アカウンティングアドバイザー（Accounting & Finance） ・会計専門性を活かしたアドバイザリーサービス ・IFRS、US-GAAPによる財務報告に関するアドバイザリーサービス ・管理会計・財務報告体制の評価、高度化支援 等 ◆ビジネスリスクアドバイザー（Governance Risk Compliance） ・戦略リスク／事業リスクを含むリスク管理の実行支援 ・テクノロジー、アナリティクスを活用したリスクマネジメント、内部統制・内部監査の高度化・導入支援 ・企業のパフォーマンスを強化するためのオペレーショナルリスク戦略立案支援 ・グローバル企業のリスクマネジメント、危機管理体制の評価、構築支援 等 ◆ITリスクアドバイザー（Information Technology） ※ITリスクアドバイザーは業務別の選考となります。 ① システム監査・システムリスクコンサルタント（CA） ・会計監査の一環として行うシステム監査、ITガバナンス体制構築アドバイザリー、システム統合プロジェクトの管理 等 ② ITガバナンスコンサルタント（ITG） ・経営・事業に貢献するITの導入支援、ITリスク管理やITガバナンスの高度化を支援 等 ③ データ分析コンサルタント・データサイエンティスト（Deloitte Analytics） ・データアナリティクスを通じたビジネスコンサルティング、監査業務の高度化・効率化、先端技術サービス開発 ④ サイバーセキュリティコンサルタント（Cyber） ※東京サマーCFのCFNサイトではデロイト トーマツ サイバー合同会社で募集をしております ・サイバーセキュリティ対策立案、技術支援、プライバシーリスク、法制度対応支援、インテリジェンス 等 ◆公的機関向けリスクアドバイザー（Government & Public Services） ・パブリックセクターへの政策提言、官民連携ビジネス開発を含む公共アドバイザリー ◆金融機関向けリスクアドバイザー（Financial Services Industry） ・メガバンク、大手証券、大手保険会社のグローバル化に伴う経営課題に対応するアドバイザリー
勤務地	東京（ただし、プロジェクトにより国内各地・海外勤務の可能性あり） 募集職種②ITガバナンスコンサルタント（ITG）は、デロイト トーマツ リスクサービス株式会社へ入社となります。 募集職種④サイバーセキュリティコンサルタント（Cyber）は、デロイト トーマツ サイバー合同会社へ入社となります。
給与	標準年額 4,792,700円 ※固定時間外手当（月25時間分）を含みます。月25時間を超えて発生した時間外勤務、深夜勤務、休日勤務の割増賃金は別途支給いたします。
賞与	年3回（6月、9月および12月）
勤務時間	9:30～17:30
休日休暇	土曜、日曜、祝祭日、年末年始休暇、年次有給休暇、受験有給休暇、産前産後休暇、育児休暇、介護休暇、夏期休暇、トーマツ休日など
選考フロー	フルタイム WEBエントリー → 書類選考 → 適性検査 → 一次面接 → 最終面接 → 内定 インターン選考 WEBエントリー → 書類選考 → 面接 → インターン選考（東京）・適性検査 → 最終面接 → 内定
応募要件	・正規留学・交換留学・短期留学 いずれも可 ・日本語・英語の双方がビジネスレベル以上 ・1年以内に当社の採用面接を受けた方は応募できません ・デロイト トーマツ グループ内の併願エントリーは可能です

法人概要

主たる事務所所在地	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 丸の内二重橋ビルディング
代表者名	包括代表 國井泰成
設立	1968年5月
事業所	東京事務所以外の事務所：国内29カ所、連絡事務所：国内10カ所、海外駐在員派遣：約50都市
従業員数	6,787名（2018年5月末日現在）
監査関与会社	3,339社（2018年5月末日現在）
関連会社	デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人 他

Deloitte. トーマツ.

デロイト トーマツ

Making another half century of **Impact** **50th**
デロイト トーマツ 50周年 次の50年へ
Deloitte Tohmatsu

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームであるデロイト トーマツ合同会社およびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社、デロイト トーマツ税理士法人、DT弁護士法人およびデロイト トーマツ コーポレート ソリューション合同会社を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約40都市に約11,000名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループWebサイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリーサービス、リスクアドバイザリー、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスをFortune Global 500® の8割の企業に提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約245,000名の専門家については、[Facebook](#)、[LinkedIn](#)、[Twitter](#)もご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数を含みます。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitteのメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性があります。個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的事案をもとに適切な専門家にご相談ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

© 2019. For information, contact Deloitte Touche Tohmatsu LLC.



IS 669126 / ISO 27001